

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2001-014237

(43)Date of publication of application : 19.01.2001

(51)Int.Cl.

G06F 13/00  
G06F 3/16  
H04L 12/54  
H04L 12/58

(21)Application number : 11-188871

(71)Applicant : NEC CORP

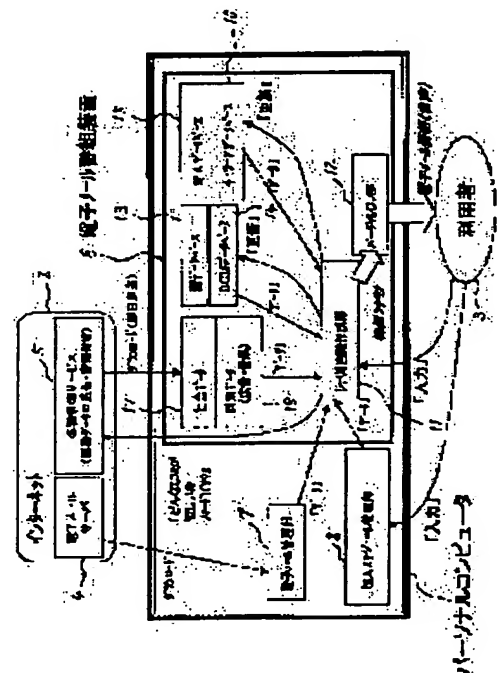
(22)Date of filing : 02.07.1999

(72)Inventor : NUMA TAKAYUKI

**(54) ELECTRONIC MAIL PROGRAM DEVICE AND RECORDING MEDIUM WITH PROGRAM FOR ELECTRONIC MAIL PROGRAM RECORDED THEREON****(57)Abstract:**

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To automatically plan a recreational scenario, to transmit the scenario to a user by voice information in such a manner as a radio program and to make electronic mail contents possible to be grasped.

**SOLUTION:** A scenario automatic preparing part 11 downloads social and commercial data from the Internet 2 according to the demand of a user 3 on that day and the characteristic analysis of electronic mails, decides the priorities for the electronic mails, makes BGM(background music) correspond to each electronic mail and prepares a scenario. A virtual DJ(disk jockey) part 2 outputs the scenario by voice as well as BGM data with phrases selected according to the demand of the user 3 among preliminarily prepared specific expression.

**LEGAL STATUS**

[Date of request for examination] 20.06.2000

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 07.10.2003

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]





版の中から選択する。

(2) 番組トビツクの紹介、読み上げるメールの読取と、その中で最も“得点”の高いメールの“メール特徴”を本日のトビツクとして紹介する。

(3) 「時事情報あり」の電子メールのうち、最も“得点”の高いメールを選択し、紹介する。時事情報、すなわち、その日の選挙や事件・天候に関連する情報のキーワードと、ある電子メールの時事情報のキーワードが一致していれば、まずその時事情報について紹介した後、関連の電子メールの読み上げを行う。また(5)で音楽などは、時事情報とそれに関連する電子メールがある場合に同様の処理を行ってから(4)の段階へ進む。

(4) 、(5) ステップ3で決定されている優先順位に従い、各々番組コメントの後に電子メールを紹介する。電子メールの合同に、設定に応じて広告・音楽を挿入する。広告や歌の直後には、再び(3)と同様に時事情報関連のメールを読む。電子メール読取の1/4、1/2、3/4のタイミツクで(5)へ移行する。このタイミツクは設定変更可とする。

(6) 最後に、次の番組を期待させる情報を紹介する。「最近誰とそんなにメールを出していない。」、(明日の予定はO×である。)などの次回以降につながる情報を紹介する。

(7) 終了のあいさつ。利用者の趣向により、「通常」、「元気」、「壮年」など複数選択肢の中から選択する。

【0031】特に設定する場合には、「好」や「悪」「要注意」などの特定の特性が与えられた電子メールのみを抽出した構成を行うことも可能とする。例えば、番組シナリオの絵文字が規定値を超える場合や、所望の電子メールのみを読み上げたい場合などである。

【0032】次に、パーソナルD]部12による番組放送を行う(ステップ36)。図7は、パーソナルD]部12による番組放送の説明図である。パーソナルD]部12は、ステップ6により作成されたシナリオの各段階において、利用者3の要望に合った複数の言い回し候補の中からプログラムに一つを選択し、これを音声で出力する。各々の候補はその雰囲気にあったものとする。以下はその一形態である。

【0033】「開始のあいさつ」の場合、その日の要望が「通常」であれば、

(a) 「こんにちは。10時27分になりました。メールをお伝えします」

(b) 「こんにちは。メールの時間です」

その日の要望が「元気になりたい」であれば、元気なBGMと共に……

(a) 「おーっすー聞こえないぞー、も一度、おーっすー」

(b) 「今日もメールが届いているぞー一気に行こう

(5)

特開2001-14237  
8

1) その日の要望が「落ち着きたい」であれば、落ち着いたBGMと共に……

(a) 「今日も一日、お眠れさまでした。ごゆっくりとメールをお読みください」

(b) 「今宵もひととき、大切な方々に包まれておくつるぞう……」

パーソナルD]部12は各電子メールを読み上げる際、ステップ3で関連付けられた特性に合ったコメントを電子メールの冒頭に付加し、その後に本文を読み上げる。このコメントは複数の候補があらかじめ音声データでパーソナルコンピュータ1に保存されている。

【0034】以下は各電子メールの冒頭コメントの形態である。

「おっと、お次はお待ちかねの△×さんからのお返事です」(返信情報)

「おや、△×さんという、初めての方からメールが来ていますね」(新人情報)

「なんだか華らしいメールが届いていますよ」(時事情報)

「どうやらあなたが話題になっているみたいですよ」(主役情報)

「げげ、OVさんから届いています。なんだろう。」

・「(新人情報)」

「○(キーワードデータベースのキーワード)の話題です」(内容情報)

「「要読」だなんて、あるけど、どんなメールなんだろうね」(内容情報)

電子メールの引用部分を読み上げる場合は「ここからは○○さんの引用です」などと引用の前段で断りを入れることで内容的な表現手段を取り入れる。

【0035】利用者は、自分の好みに従い、以下の要素を個別に改訂、更新すること可能とする。

・パーソナルD]部12の別送入手(言い回し、基本となる声データの改訂)。

・BGMデータベース14の別送入手(新規BGMの入手)。

・パーソナルデータベース13の別送入手(属とキーワードの関連付けの改訂)

・対人データベース15、キーワードデータベース16の更新(所属判定の再定義、人名の追加など)。

・データをダウンロードするサイトの変更(情報源の改訂)。各団体が営利、非営利目的で本発明と連携しつつ運営する情報サービスを提供するサイトがインターネット上に複数存在するものと仮定する。

【0036】次に、本発明の第2の実施の形態について説明する。図8は本発明の第2の実施の形態の構成を示すブロック図である。第2の実施の形態は、パーソナルコンピュータ1はインターネットに接続されており、利用者3が操作を行う。記録媒体9は、電子メール番組

用プログラムを記録している。この記録媒体9は、磁気ディスク、半導体メモリ、光ディスク、その他の記録媒体であってよい。

【0037】電子メール番組用プログラムは記録媒体9からパーソナルコンピュータ1に読み込まれ、第1の実施の形態におけるシナリオ自動作成部11とパーソナルD]部12の処理と同様の処理を行う。

【0038】すなわち、BGMデータベースの特性と対応させてBGMデータベースに選択する処理と、利用者3宛に送信した電子メールの特性を分析して関連した付加情報を加える処理と、特性に従って前記電子メールの出力順序を決定する処理と、BGMデータベースから特性に対応するBGMデータベースを選択する処理と、シナリオを作成する処理と、あらかじめ用意した特定の言い回しの中から利用者3の要望により選択した言い回しによりシナリオをBGMデータベースと共に音声出力する処理とを行う。

【0039】[発明の効果] 電子メールが日常的に用いられ、異動などで大量のメールを読むことが当たり前になりつつある今日において、プライベートなアドレスに届くプライベートな内容の電子メールは開封を遅らせずにリアルタイムで読みたいものである。

【0040】分析のように、この発明によれば、電子メールの特性を以上し、適当な優先順位にあって順序を再構成したうえ、適切なBGMと共に人間味ある音声で読み上げ、ときに興味を引く話題・音楽・広告などを織り交ぜることで関心者を惹ききかせない演出を自動的に行うことを通じて、利用者は視神経を用いずにリアルタイムに本発明で電子メールの内容を確認することが可能となる効果が得られる。

【0041】また特に視覚障害者などの場合、自分以外の誰かにメールの内容を読み上げてもらうことは、それがいいに異動であってもプライベート上好ましくない場合があったが、本発明によりプライベートを守りながら

(6)

特開2001-14237  
10

電子メールの内容を確認することが可能になる。

【図面の簡単な説明】

【図1】第1の実施の形態の構成を示すブロック図である。

【図2】第1の実施の形態の主要動作を示すフローチャートである。

【図3】要投入と関連情報ダウンロードの説明図である。

【図4】電子メールの特性分析と優先順位判定の説明図である。

【図5】BGM関連付けの説明図である。

【図6】シナリオ作成の説明図である。

【図7】パーソナルD]部による番組放送の説明図である。

【図8】第2の実施の形態の構成を示すブロック図である。

【符号の説明】

1 パーソナルコンピュータ

2 インターネット

3 利用者

4 電子メールサーバ

5 各種情報サービス

6 電子メール番組装置

7 電子メール管理部

8 個人スケジュール管理部

9 記録媒体

10 シナリオ自動作成部

11 パーソナルD]部

12 パーソナルデータベース

13 BGMデータベース

14 対人データベース

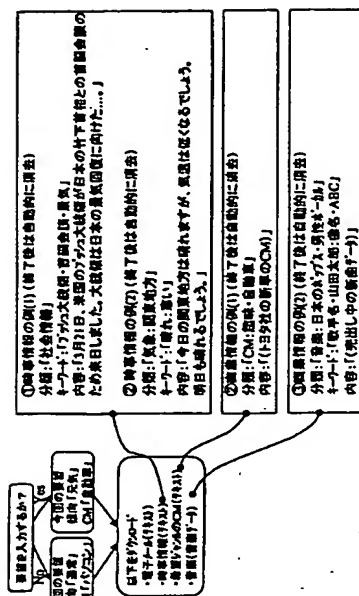
15 キーワードデータベース

16 キーワードデータベース

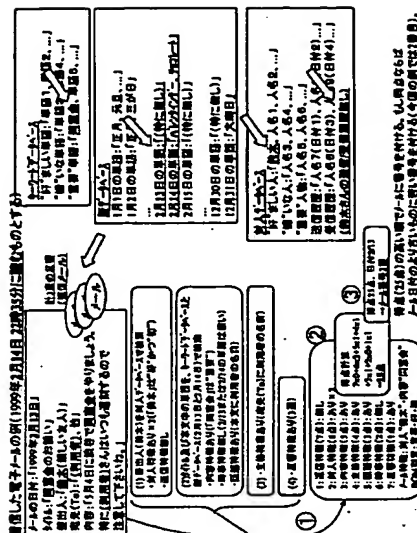
17 社会データ

18 商業データ

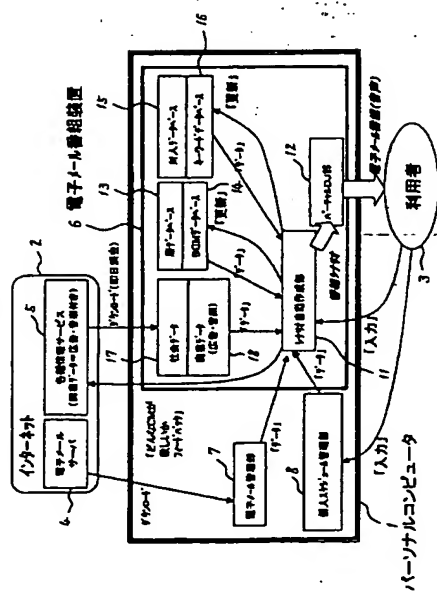
**[圖 3]**



**【圖4】**



【11】



【图2】

